

日本の経済はどうなっているのか

常々納得のいかないのは東日本大震災後も続く円高のことです。円高による海外への企業流出、でも今回のタイでの大洪水災害による予期しない事態、今日世界ではいたる所で経済にまつわる騒動が起きています。あれ程華々しく結成されたEU（ヨーロッパ連合）でさえ、お金のことで結束が乱れつつあります。

アメリカは日本に環太平洋自由貿易同盟への参加を強要しています。韓国の大統領は何故アメリカで歓迎され、日本の野田首相がそうでないのでしょうか。全てではないにしてもその原因は世界の国々の、いや私達の日常へ行動経済によるものではないでしょうか。“今買っておかないと”、“今売らないと”“もしかしたらの直観”。人は経験から得られた情報やたまたま出会った情報（これをヒューリスティック heuristic といいます）、バーゲンセールでの呪縛、オイルショック、近くは大震災時でのトイレトペーパーやカップラーメンの買い占め、政府や企業がそれとなく仕掛けるナッジ（nudge）とは、など知っておいて損のない経済知識、損か得かの気分はその時々にかかれた自分の気持ち次第、それらが分かり易く書かれています。一読を勧めます。

平成23年10月15日

理事長 市丸 喜一郎

参考書：「最新 行動経済学入門」

真壁 昭夫著 朝日新書

（はまゆう倶楽部図書）